

平成27年度蕨市協働事業提案制度 応募者による提案内容の概要について

区 分	自由テーマ	自由テーマ	自由テーマ	自由テーマ
団 体 名	外遊びを考える会 「どろんこの王様」	NPO法人 ふうせん	わらてつ倶楽部	わらてつまつり実行委員会
協働事業の名称	子どもたちに生きる力を ～ひとりひとりの居場所について考える事業～	「楽しく子育て！笑 ^び ってフェスタ2015！」	大荒田交通公園SL整備による 郷土と鉄道の関わりと地域貢献	蕨と鉄道 にぎわい創出PJ ～鉄道を中心とした地域貢献～
市の担当部署名	福祉・児童センター	福祉・児童センター	道路公園課	商工生活室
協働事業の形態	共催	補助	補助	補助
協働事業の目的	年齢や家庭の状況などに関わらず、ゆるく広く受け入れるプレーパークを通して、そこに住むさまざまな立場の人がたくさん関わって、子どもの存在や遊びの意味について考えることをきっかけとして、人とながることで、子どもも大人も笑顔で過ごせるような街づくりを目指す。	子育ての時期は、地域社会と関わりを持つチャンスなのに、公共、企業、地域、商店街、子育て情報は、意外と知られていないことが多い。夫婦共働きが増え、地域となかなか関わることができない若い世代に、地域に関する子育て情報を発信し、若い世代が地域の行事や活動、コミュニティに参加することで、地域や人とのつながりを持ち、自然と地域の担い手となるような流れを作る。	SL整備による文化財保護意識の啓発 「鉄道の街 蕨」のシンボルでもある大荒田交通公園のC11 304号機の整備、および周辺の清掃を行うことで、公園を利用する子どもたちを含む市民へ、文化財保護意識の啓発を図る。また、産業遺産としてのSLの意義や蕨との関わりを学ぶ場を提供する。	わらてつまつりによる地域活性化 過去2回(内1回は蕨駅の開業120周年記念事業として)成功裏に終了した本まつりは、市内外から多くの集客を実現した。今回協働事業とすることで、一層の集客増加が見込まれ、更なる「にぎわい創出」が可能となり、「鉄道の街・蕨」を周知することも可能になる。また、地域企業JR東日本などと連携して行うことで、市の知名度アップにもつながる取り組みができる。
協働事業の内容	①実施期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日 ②実施場所 福祉・児童センター・中の宮公園・錦町児童館・錦町6丁目ちびっこ広場No.34 ③対象者 乳幼児から大人まで誰でも可 ④実施方法 学習会(講演・ワークショップなど)、プレーパーク ⑤期待する成果 地域の皆さんと考えていくことで、一人でも多くの子どもや大人が、自分の居場所を見つけることができ、蕨に住んで良かったと思えるようになる。 ⑥特徴等 プレーパークは外遊びが思いっきりできる場所というだけでなく、年齢や家庭の状況などに関わらず、ゆるく広く受け入れられる場所であることから、様々な困難を抱える子どもたちや大人でも自由に参加でき、結果的にさまざまな支援になる。	①実施期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日 ②実施場所 中央公民館・市民会館 ③対象者 子育て中または妊娠中のファミリー ④実施方法 1年に1度の大きな子育てイベントとして開催し、その後はメールマガジンやホームページによる子育て支援情報の発信ならびに配信。 ⑤期待する成果 情報発信による地域の活発化・子育てしやすいまちづくり・男性の子育ての参加の推進・女性の社会進出のきっかけづくり・今後の地域活動につなげるためのネットワークづくり ⑥特徴等 NPO法人ふうせんが中心となり、普段バラバラな各課の子育て支援情報を集約し、市民に分かりやすい形で提供する日本一小さいコンパクトシティだからこそできる身近な地域情報を発信できる新しい市民サービス。	①実施期間 平成27年5月中旬、11月上旬 ②実施場所 大荒田交通公園 ③対象者 大荒田交通公園利用者などの蕨市民ほか ④実施方法 定期的なSLの清掃および補修(傷んだ外販の削り出しと再塗装、穴の開いた箇所のパテ埋めなど) ⑤期待する成果 文化財であるSLに親しんでもらうと共に、鉄道と蕨の関わりを理解してもらう。 ⑥特徴等 鉄道の好きなメンバー同士のコミュニケーションを図るとともに、これら文化的遺産保護の活動意義を周知することができる。また、資産としての活用を図る。また、各地の鉄道車両を保存管理する経験を持ったメンバーが、アドバイザーとして存在する。	①実施期間 平成27年7月中 ②実施場所 蕨市立文化ホールくるる、旭町公民館、JR蕨駅ほか ③対象者 蕨市内外のイベント参加者 ④実施方法 鉄道模型レイアウトの展示走行、親子で参加できる模型作り、物販(模型や鉄道用品)、露店(飲食物など) ⑤期待する成果 本年以上の集客数、および多くの子どもたちの笑顔と幅広い世代の交流 ⑥特徴等 市民の声から立ち上がったイベントであること。鉄道好きな世代を越えたメンバー同士のコミュニケーションがとれること。鉄道情報サイトなどで、イベントを周知することで、市外県外の方の参加も多いこと等があげられる。また、地元企業やJR、町会、幼稚園、保育園が連携団体として実行委員に入り、積極的に参加している。
協働事業の全体予算額	960,000円	348,500円	198,000円	450,000円
市が負担すべき予算額	900,000円	300,000円	148,500円(2年目のため対象経費の75%)	300,000円
採択結果	不採択	採択	採択	採択